

平成26年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 1 健やかな暮らしを支え、安全で快適に暮らせるはつかいち
 政策目標 3 やさしい心で支え合い、健やかに暮らせるまちに
 重点的取組 3 高齢者や障がいのある人など誰もが自分らしく地域で暮らせるよう支援する

担当課名	福祉保健部 高齢介護課		
予算	会計	23	介護保険特別会計
算	款	03	地域支援事業
科	項	02	包括的支援事業・任意事業費
目	目	02	任意事業費

事業名	任意事業	事業開始年度	平成 15 年度
	認知症高齢者を地域で支える仕組みづくり	根拠法令 条例 個別計画等	別 記

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	認知症高齢者及びその家族	認知症高齢者やその家族が安心して暮らし続けることのできるまちづくりを推進する。

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市	社会福祉協議会 認知症になっても安らぎのある廿日市市をつくる市民の会 社会福祉法人佐伯さつき会	・やすらぎ支援事業の申請受付、利用の決定 ・関係団体への委託、実績報告による精算

3 平成26年度 予算(事業の内容・コスト情報・目標到達見込)

活動内容	●事業内容
	<p>○認知症キャラバンメイト養成講座、認知症サポーター養成講座の開催（事業費：328千円） 事業は、廿日市市社会福祉協議会に委託する。</p> <p>○徘徊高齢者家族支援サービス事業及び認知症にやさしい地域づくりネットワーク形成事業（事業費：438千円） （根拠規定：廿日市市認知症にやさしい地域づくりネットワーク形成事業実施要綱、廿日市市徘徊高齢者家族支援サービス事業実施要綱） 徘徊により行方不明となった高齢者を早期に発見するための検索ネットワークを形成し、高齢者の事故防止及び 家族が安心して介護できる環境をつくることを目的とする事業。 事業は、廿日市市社会福祉協議会に委託する。</p> <p>○認知症高齢者家族やすらぎ支援事業（事業費：4,018千円） （根拠規定：廿日市市認知症高齢者家族やすらぎ支援事業実施要綱） 一定の研修等を受けたやすらぎ支援員が利用対象高齢者の居宅を訪問して、見守り、話し相手などのサービスを提供する事業。 事業は、認知症になっても安らぎのある廿日市市をつくる市民の会及び社会福祉法人佐伯さつき会に委託する。</p> <p>【歳入】 4,784千円 （地域支援事業交付金：国39.5%、県19.75%、市19.75%、1号保険料21%） 【歳出】 4,784千円</p>

コスト情報(円)	項目		平成24年度決算	平成25年度予算	平成26年度予算
	財源内訳	直接事業費 A	4,226,726	4,785,000	4,784,000
		国庫支出金	1,669,556	1,890,000	1,889,000
		県支出金	834,778	945,000	944,000
		借入金(市債)			
		その他(使用料など)	834,779	946,000	946,000
	市(市税など)	887,613	1,004,000	1,005,000	
		人件費(按分) B	0.05 人 438,600	0.05 人 437,600	0.05 人 425,550
		総事業費(A+B)	4,665,326	5,222,600	5,209,550
	ト換算	① 人口(4月1日現在)	118,000 人	118,000 人	117,680 人
② 市民1人当たり		40	44	44	

到達目標	活動及び成果指標		単位	H24実績値	H25目標値	H26目標値	H27目標値	備考
	活動	認知症サポーター養成講座開催回数	回	12	15	20	25	
		やすらぎ支援員登録者数	人	134	150	160	170	
	成果	認知症サポーター養成講座受講人数(累計)	人	3,396	3,230	3,630	4,050	
やすらぎ支援事業利用件数		回	747	760	780	800		